

□新年役員会

▼一月十九日新年役員会が開催されました。任職挨拶、総代長・佐久間清氏挨拶、退任・新任役員紹介、平成二十五年度行事報告、平成二十六年行事予定他、終わって懇親会に移りました。

退任 本郷 齋藤和信氏

並槻 加茂幸夫氏

並槻 八幡辰三氏

新任 並槻 加茂榮一氏

並槻 佐久間鉄也氏

鷹巢 近 文雄氏

東本町 村上 豊氏

\*新任者には委嘱状授与

■訃報 平成二十五年ご逝去

表 町 五十嵐タミノ氏

四月 九日 享年八十四歳

柴 橋 宮村 昭二氏

五月 十一日 享年八十七歳

大川町 中山 茂雄氏

十一月十六日 享年八十二歳

\*長年にわたり当寺世話役員として寺護持発展にご尽力くださいました。感謝を申し上げ、謹んで冥福をお祈りいたします。

□永平寺だより (三男恭真)

▼四国新居浜の瑞應寺専門僧堂に平成二十二年三月から約三年半修行していましたが、昨年八月十五日に送行(修行を終えて帰る)しました。四国から帰ると十月には、徒歩にておよそ一ヶ月かけて四国八十八ヶ所(200キロ)を巡り、最後は再び一番徳島の霊山寺と和歌山県、真言宗の総本山高野山に御礼参りをして戻って来ました。そして、今度は再び二月十八日(二十一日上山)大本山永平寺へ修行の旅に出ました。曹洞宗の一僧侶としての自分のこれからの将来を考えていることとでありましょう。

□千眼寺だより (二男秀孝)

▼昨年十二月二十日に二十四世住職山本宗彦老師が突然死去されました。享年八十五歳でした。その後、二月二十日に密葬を済ませ、現在二十五世の住職となるべく申請中です。かねてより計画中の新任職としての晋山式は来年六月に本葬と併せて執行されます。若輩ながら檀家さんから信頼されて檀務をこなしています。

□梅花だより

▼宗務所梅花流奉詠会

期日 平成二十六年 四月十日〜十一日

会場 能登總持寺祖院・永光寺

▼全国梅花流奉詠大会

期日 平成二十六年 五月二十七日〜二十九日

会場 島根県立浜山体育館

(出雲カミアリーナ)

登壇奉詠 二十八日

奉詠曲目 慶祝御和讃一、二

第四宗務所より八十名参加

▼十七教区梅花流特派講習会

期日 六月六日

会場 大輪寺

講師 梅花流特派師範

▼練習会日程表

三月 四日(火) 午後一時

三月十八日(火) 午後一時

四月 八日(火) 午後一時

四月二二日(火) 午後一時

\*梅花流詠讃歌(御詠歌)を始め、せんか。お釈迦さま、道元さま、瑩山さま、諸仏・諸菩薩さまを讃え、ご先祖さまを敬つこころを学ぶことができます。

仏事の知識

四苦八苦

仏教には「四苦八苦」という言葉があります。「生老病死」の四苦に「愛別離苦」「怨憎会苦」「求不得苦」「五蘊盛苦」の四苦を加えて「八苦」と言う。愛する人と別れなければならない苦しみ(愛別離苦)、怨み憎しみがある者と会わなければならない苦しみ(怨憎会苦)、求めても欲しい物が手に入らない苦しみ(求不得苦)、体や心の欲望が盛んなる苦しみ(五蘊盛苦)。この八苦は生きていく限り避けられないものです。一般的には「借金返済に四苦八苦している」という風に非常に苦しい立場にあるときに用いられていますが、本来は仏教用語の人生の苦しみを説いたものです。

「生老病死、愛別離苦」は無常の世であるがゆえに必ずやってくるもの。お釈迦様は「世皆常無し、会えば必ず離る」と説き、一度きりの尊い命であるから、「一心に出道を勤求すべし・ただ一心に仏道を修行せよ」と教えられています。